

学生番号： _____ 氏名： _____

- 提出書類を準備した後、下記の「同封済」欄に○又は☑等記入し、自宅で番号順に並べた上で、「①レターパックライト」に入れ、封かんはしないで、提出してください。
- 提出書類は特に記載があるものを除いて一切返却・貸出できません。
- 特に記載があるものを除き、「黒ボールペン」で記入すること。
- 記入を誤った時は、「二重線」で訂正すること。修正液や修正テープは不可。

対象者	提出書類	同封済	備考
全員	①レターパックライト 窓口提出の場合 : 1通 (430円) 郵送提出の場合 : 1通 (370円) 1通 (430円) 計 2通 (郵便局・生協(ピーシーエフ・一部のコンビニ等)で購入できます。10/1郵便料金改定のため、上記金額のものを購入してください。)		【全員】 返還誓約書等を郵送する際(11月)に使用します。 ・郵便番号とお届け先(To)を記入 氏名の後に「学生番号」を記入 (例) 岡大 太郎 (学生番号:00B24000) ・電話番号…携帯番号可 【郵送の場合】 ユーザID・PW等を返送する際(9月)にも使用します。 上記を記入の上で、2通同封してください。 大学への申請書類郵送用(370円のレターパックライト)は別に必要です。合計3通購入すること。 ※ご依頼主様保管シール(バーコードシール)は、はがさないでください。
全員	②提出書類一覧表 (本用紙です。)		鉛筆書き可
全員	③スカラネット入力 下書き用紙 ※奨学金案内の中に挟みこまれています。		・鉛筆書き可 ・「スカラネット入力下書き用紙の記入上の注意」を確認の上で記入してください。 ・P14の貼り付け欄へ【通帳などの口座名義人及び口座情報が記載されている部分のコピー】を貼付すること。
全員	④スカラネット入力 下書き用紙のコピー		・白黒コピー可。ページ順に並べること。 ・③④の両方を提出すること。 ・④は大学で確認後に返却します。(誤りがある場合、朱書訂正して返却しますので、返却後は内容を再確認してください。)
全員	⑤確認書兼個人情報情報の取扱いに関する同意書		・奨学金案内の最後のページにありますので、切り取って記入してください。 ・本人が記入すること。
該当者	⑥出身校の調査書 (二種のみを希望する人は不要です。)		※ 新入生で、「一種」又は「併用」貸与を希望する方のみ ・出身校へ依頼して、未開封のものを準備。(開封無効です。) ・「成績証明書」ではなく「調査書」を準備。(成績証明書は不可。) ※「一種と二種の併用貸与」を希望する場合でも1部のみで結構です。 ※「一種と二種の併用貸与」への変更を希望される方も提出が必要です。

対象者	提出書類	同封済	
該当者	⑦出身校の成績証明書 (二種のみを希望する人は不要です。)		<p>※2024年4月入学の編入生で、「一種」又は「併用」貸与を希望する方のみ</p> <p>出身校へ依頼して、未開封のものを準備。(開封無効です。)</p> <p>※「一種と二種の併用貸与」を希望する場合でも1部のみで結構です。</p> <p>※「一種と二種の併用貸与」への変更を希望される方も提出が必要です。</p>
該当者	⑧外国人登録証明書や在留カード等のコピー		<p>※外国籍の方のみ</p> <p>在留資格の記載がある書類</p>

■奨学金に関するホームページ

岡山大学のホームページ→「在学生・保護者の方」→奨学金

→貸与奨学金の申込→在学採用 (入学後の申込) →学部学生

http://www.okayama-u.ac.jp/tp/life/seikatu_a2-1.html#4



※今回の申請に必要な各種様式は上記から印刷できます。

※下書き用紙に表示している内容は2024年1月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります※

2024年度

スカラネット入力下書き用紙

【貸与奨学金のみ申込み用】（大学・短期大学・専修学校専門課程）



独立行政法人

日本学生支援機構

JASSO Japan Student Services Organization

貸与奨学金のみを申し込む際の「スカラネット入力下書き用紙」です。在学している学校が確認大学等（給付奨学金対象校）であり、給付奨学金と貸与奨学金の両方を申し込む場合は、給付奨学金案内に挟み込まれている「スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】」を使用してください。
なお、緊急採用・応急採用に申し込む場合は、こちらの用紙を使用してください。

スカラネットURL <https://www.sas.jasso.go.jp/>

受付時間 8:00~25:00（最終締切日は8:00~24:00）

※受付時間を過ぎると画面が強制終了します。余裕をもって入力を開始してください。
入力所要時間の目安は30分~1時間です。



氏名	学籍番号	学部・学科・分野

入力の際に必要な項目です。
学校の担当者に必ず正しい名称を確認してください。

受付番号									

入力が完了し「送信」ボタンを押した後に、受付番号が画面に表示されます。
太枠部分は、定期採用で申込みした場合は「2」、緊急採用・応急採用で申込みした場合は「3」になります。

【スカラネット入力の際に、手元に用意する書類】

- ・学校から受け取った識別番号（ユーザIDとパスワード）
- ・マイナンバー提出書
- ・奨学金振込口座（本人名義）の通帳などのコピー（本冊子14ページに貼り付けてください。）

【スカラネット入力内容記入欄】

※インターネットで申し込む際は、「奨学金案内」37ページ「(3) 文字入力」を参照して文字を入力してください。

識別番号入力

あなたの識別番号（学校から交付されたユーザIDとパスワード）を入力してください。

（注）パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

ユーザID	<input type="text"/>	パスワード	<input type="text"/>
-------	----------------------	-------	----------------------

パスワードはスカラネット入力時は黒丸記号での表示になります。入力がエラーになる場合は、入力した文字を目で見て確認できるよう、最初にユーザID欄に入力し、それをコピーして貼り付けてみてください。

奨学金学種（学校）・申込の選択

あなたはどの課程で奨学金を受けたいですか。

課程を選択してください。

課程：大学の場合の表示例

申込み奨学金を選択後、「次へ」ボタンを押してください。

(1) 定期採用（1次又は2次 給付奨学金・貸与奨学金）

- 現在在学している大学での奨学金を申込みすることができます。

(2) 家計急変採用（給付奨学金のみ）

- 生計維持者に特定の事由が生じたことで家計急変し、急変後の収入状況が住民税情報に反映される前に支援を要する場合のみ申し込むことができます。

学校で申込資格を確認してください。

(3) 緊急採用・応急採用（貸与奨学金のみ）

- 生計を維持している人が失職、倒産、病気、死亡等又は火災、風水害等により家計急変が生じた人のみ申込みすることができます。

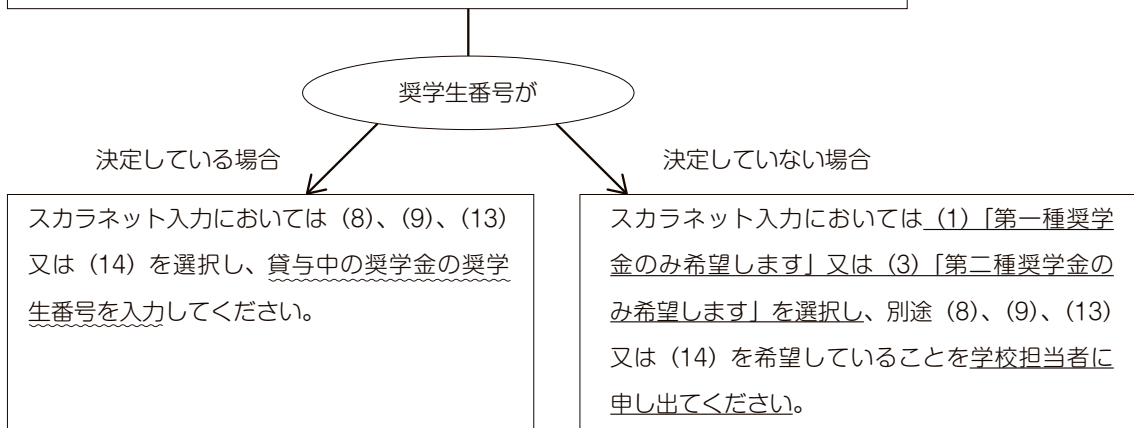
学校で申込資格を確認してください。

課程を選択すると、申込み奨学金を選択する画面が表示されます。
※この「下書き用紙」及び「奨学金案内」では、(1)定期採用又は(3)緊急採用・応急採用を選択した場合について説明しています。申し込み奨学金を誤って、申込完了してしまうと、修正できませんので、注意してください。

奨学金申込区分の注意事項①

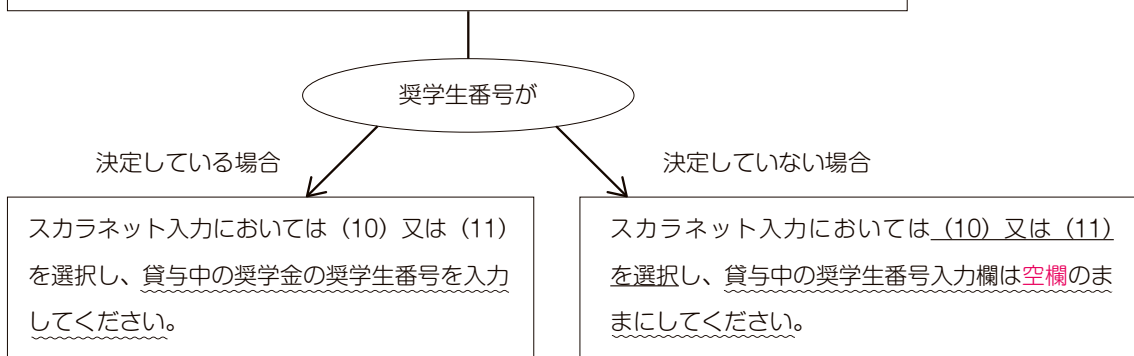
◆ 在学採用で申込区分 (8) (9) (13) (14) を希望する

- 予約採用者で進学届を提出したが、奨学生番号が決定していない人
- 短期大学・高等専門学校・専修学校から大学への編入学により第二種奨学金を継続するが、奨学生番号が決定していない人
- 既に一種・二種どちらか一方を貸与中の人



◆ 在学採用で申込区分 (10) (11) を希望する

- 予約採用者で進学届を提出したが、奨学生番号が決定していない人
- 短期大学・高等専門学校・専修学校から大学への編入学により第二種奨学金を継続するが、奨学生番号が決定していない人
- 既に一種・二種どちらか一方を貸与中の人



※申込区分 (8) ~ (14) を希望し、現在貸与を受けている奨学金の変更を希望する人は、採用後に、現在貸与中の奨学金の一部を返戻する必要がある場合があります。

※申込区分 (8) ~ (14) を希望し、不採用となった場合でも貸与中の奨学金が打ち切られることはありません。

奨学金申込区分の注意事項②

在学採用で申込区分 (5) (6) (7) を希望する場合、併用貸与が不採用になった場合を想定して、第2希望・第3希望の貸与奨学金の月額を選択してください。なお、採用後、貸与月額を減額することができます。

③-あなたの在学情報

1. 学校

- (1) あなたの学校名を確認してください。 (1) ××大学
- (2) あなたの学籍番号を記入してください。 (2) (半角英数字記号)
- (3) あなたの在学している学部(科)名を選択してください。 (3)
- (注) 短期大学・専修学校在学している方は学校の指示にしたがって選択してください。
- (4) あなたは専攻科または別科に在学していますか。 (4) いいえ 専攻科 別科
- (5) 学年を記入してください。 (5) (半角数字) 学年
- (6) 昼夜課程を選択してください。
昼(昼夜開講含む) 夜 通年スクーリング 昼間スクーリング
- (7) 現在通っている学校への入学について、次の①～③のうち該当するものを選択し、入学年月等を記入してください。
①現在通っている学校の1年次に入学した。(同一校で転学部・科している場合を含む)
→入学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月
②現在通っている学校の2年次以上の学年(課程)に、他の学校から編入学又は転学した。(以下3つの年月を全て記入してください。)
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月:
西暦(半角数字4桁) 年 月
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月:
西暦(半角数字4桁) 年 月
→現在通っている学校へ編入学又は転学した年月:
西暦(半角数字4桁) 年 月
③現在通っている学校の2年次以上の学年(課程)に、他の学校から編入学又は転学した(編入学又は転学の前に在学していた学校(大学、短大、高専、専門学校)が2つ以上ある。)(以下5つの年月を全て記入してください。)
【1回目の編入学】
→2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月:
西暦(半角数字4桁) 年 月
→2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月:
西暦(半角数字4桁) 年 月
→2回目の学校へ編入学又は転学した年月:
西暦(半角数字4桁) 年 月
【2回目の編入学】
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月:
西暦(半角数字4桁) 年 月
→現在通っている学校へ編入学又は転学した年月:
西暦(半角数字4桁) 年 月
- (8) あなたの正規の卒業予定年月を記入してください。
(8) 西暦(半角数字4桁) 年 月卒業 予定
- (9) あなたの正規の修業年限を記入してください。 (9) (半角数字) 年 か月

(2) 学籍番号は半角英数字や半角ハイフン(-)以外の文字を入力することができません。学籍番号にそれ以外の文字が使われている場合、学校の指示に従ってください。

(4) 専修学校は、「あなたは、上級学科に在学していますか。」という設問が表示されます。**学校からの指示がない限り(4)は「いいえ」を選択してください。**

(5) 下記に掲載の<入学・卒業予定年月早見表>を参照し、卒業年月に合わせた実質学年を入力してください。編入学の場合は編入した学年を入力してください。
(例)
○2年次休学のため3年次へ進級できなかった場合→2学年
○3年次編入→3学年

(6) 通学課程の学生は「昼(昼夜開講含む)」又は「夜」を選択してください。

(7) ①～③から該当する1つを選択してください。

編入学又は転学した人は、前に在学していた学校への入学年月等も入力が必要です。
なお、高等専門学校からの編入学又は転学の場合、前の学校の入学年月は高等専門学校の4年次進級年月を入力してください。
(例)
2022年4月にA短期大学に入学。2024年3月にA短期大学卒業後、2024年4月にB大学の3年次に編入学
・現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月
:2022年4月(A短期大学の入学年月)
・現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月
:2024年3月(A短期大学の卒業年月)
・現在通っている学校へ編入学又は転学した年月
:2024年4月(B大学へ編入学した年月)

短期大学の専攻科に在学している人は、以下の年月を入力する設問になります。
・専攻科に入学する前に通っていた学校へ入学した年月
・専攻科に入学する前に通っていた学校に在籍していた最終年月
・専攻科に入学した年月

緊急採用・応急採用に申し込む場合は、入学年月のみを入力する設問となりますので、現在在籍している課程の1年次に入学した実際の年月(在学している学校に編入学又は転学した人は、編入学又は転学する前の学校の1年次に入学(高等専門学校からの編入学又は転学の場合は、高等専門学校の4年次進級)した実際の年月)を入力してください。

<入学・卒業予定年月早見表>

2024年4月現在 1年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
2年	2024/4	2026/3
3年		2027/3
4年		2028/3
5年		2029/3
6年		2030/3

2024年4月現在 2年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
2年	2023/4	2025/3
3年		2026/3
4年		2027/3
5年		2028/3
6年		2029/3

2024年4月現在 3年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
3年	2022/4	2025/3
4年		2026/3
5年		2027/3
6年		2028/3

2024年4月現在 4年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
4年	2021/4	2025/3
5年		2026/3
6年		2027/3

※長期履修学生について

長期履修学生(「奨学金案内」10ページ参照)については、原則として奨学金を受けることのできる期間は通常課程の標準修業年限に相当する期間のみとなります。この場合、卒業予定年月は通常課程の卒業予定年月を、修業年限は通常課程の標準修業年限を記入のうえ、学校担当者へ申し出てください。

(2024年4月入学者の例)

通常課程の標準修業年限は2年・卒業予定年月は2026年3月
3年かけて履修し2027年3月が卒業予定年月となる長期履修学生
⇒卒業予定年月は2026年3月・修業年限は2年0ヵ月と入力してください。

なお、第二種奨学金の場合は、採用後に所定の手続きを行うことによって学則に定める「長期履修課程の修業年限の終期まで」貸与を延長することができます。詳しくは、学校に相談してください。

参考

(8) 通常は正規の卒業予定年月を入力します。例えば新生で2年課程の人は2026年3月になりますが、過去に休学や留年をしたことがある人は、入学当初の卒業予定ではなく、今現在の卒業予定期を入力してください(左に掲載の<入学・卒業予定年月早見表>を参照してください)。なお、年度途中修了など特別な事情により、卒業月が3月以外になる学部・学科に在籍する場合は学校に確認してください。

(9) 「修業年限」とは、あなたの学部・学科が何年課程のものかという意味です。
※現時点からあと何年通うかという意味ではありません。入力間違いをしないよう注意してください。
(例)
○4年課程の3年次に在学(編入)する人の修業年限は4年。
○2年課程に在学し、1年次の途中で申し込む人の修業年限は2年(1.5年ではありません)。

入学年度（入力した入学年月）により選択できる月額が異なります

(10) あなたが通学するキャンパスのある住所を入力してください。

※郵便番号を入力して「住所検索」ボタンを押しても住所が自動入力されない場合は、郵便局ホームページから住所をもとに郵便番号を検索し、本画面に入力してください。

(郵便番号) (半角数字) -

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降) (全角文字)

(11) あなたの通学形態を選択してください。

※社会的養護を必要とする人が、児童養護施設等や里親等のもとから通学し本人居住にかかる費用(家賃)を負担していない場合は、「自宅通学(またはこれに準ずる)」を選択してください。

※社会的養護を必要とする人を含む独立生計者が居住にかかる費用(家賃)を支払いつながりながら通学している場合は、学校までの通学距離・時間等に関わらず「自宅外通学」を選択し、下記設問にて⑤及び「支障が生じる」を選択のうえ、支障が生じる理由の入力欄に「独立生計者である」旨を入力してください。

※給付奨学金を希望する人が「自宅外通学」を選択した場合でも、自宅通学の月額からの振込み開始となります(給付奨学金に併せて第一種奨学金を希望する場合、第一種奨学金も自宅月額からの振込みとなります)。自宅外月額の振込みは、生計維持者(原則父母)と別居し、かつ学生等本人の居住に係る家賃が発生していることの証明書類(アパートの賃貸借契約書のコピー等)を学校へ提出し、不備なく審査終了してからとなります。

自宅通学(またはこれに準ずる) 自宅外通学

上記で「自宅外通学」を選択した人にお聞きます。「自宅外通学」が適用される要件は、次のとおりです。あなたが該当するものを全てを選択してください。いずれにも該当しない場合は、「自宅通学(またはこれに準ずる)」を選択し直してください。

- ①実家(生計維持者いずれもの住所)から大学等までの通学距離が片道60キロメートル以上
- ②実家から大学等までの通学時間が片道120分以上
- ③実家から大学等までの通学費が月1万円以上
- ④実家から大学等までの通学時間が片道90分以上であって、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1時間当たり1本以下
- ⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難である場合

上記で「⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難」と答えた人は、実家から通学した場合、学業継続に支障が生じますか。

支障が生じる 支障が生じない

上記で「支障が生じる」と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。

「自宅外通学」となるあなたの現住所を入力してください。

(郵便番号) (半角数字) -

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降) (全角文字)

④-奨学金給付額情報

貸与奨学金のみ希望する方は、入力の必要はありません。

⑤-奨学金貸与額情報

1. 第一種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。 (1)

【2018年度以降入学者(2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額】

区分 月額の 種類	大学				短期大学・専修学校(専門課程)			
	国・公立		私立		国・公立		私立	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
最高月額	4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円
最高月額 以外の月額				5万円				5万円
	3万円	4万円	4万円	4万円	3万円	4万円	4万円	4万円
	2万円	3万円	3万円	3万円	2万円	3万円	3万円	3万円

⇒ 最高月額を選択した人は、以下の質問に答えてください。
 貸与月額〇〇円は一定の条件を満たした場合のみ貸与を受けられる月額です。
 条件を満たさなかった場合に希望する月額を選択してください。

郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、**2024年4月時点**(二次採用(秋)で奨学金を申し込む場合は2024年10月時点)で通学しているキャンパスの住所を選択してください。自動表示されない場合は郵便局ホームページから住所をもとに郵便番号を検索し、本画面に入力してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。
 ※[9](#)ページの「住所の入力例」参照。

2024年4月時点(二次採用(秋)で奨学金を申し込む場合は2024年10月時点)での状況に基づき選択してください。
 自宅外通学とは、あなたが生計維持者のもとを離れて生活し、かつあなた本人の居住に係る家賃をあなたもしくは生計維持者が支払っている状態のことをいいます。また、「自宅外通学」の月額を選択する場合、(11)の①～⑤いずれかの要件に該当する必要があります。いずれにも該当しない場合は「自宅通学(又はこれに準ずる)」を選択してください。
 ただし、社会的養護を必要とする人を含む独立生計維持者で、居住に係る家賃が発生している人については、※2つ目の記述にしたがってください。

「自宅通学(またはこれに準ずる)」を選択した場合は、入力不要です(ボタンを押すことはできません)。

・「自宅外通学」を選択した場合は入力が必要になります。**2024年4月時点**(二次採用(秋)で奨学金を申し込む場合は2024年10月時点)から現在までお住まいの住所を入力してください。
 ※[9](#)ページの「住所の入力例」参照

在学している学校が確認大学等(給付奨学金対象校)ではない場合、「あなたが在学する学校は、給付奨学金の対象外のため入力の必要はありません。」と表示されます。

入学年度によって、適用される貸与月額が異なります。
 また、専修学校(専門課程)のうち、独立行政法人及び地方独立行政法人が設置する専修学校は「国・公立」の月額が適用されます。プルダウンリストから希望する月額を選択してください。

最高月額を利用するためには、併用貸与の家計基準を満たしていることが必要です。
 それぞれの月額を利用できる収入・所得金額の目安は「奨学金案内」の12ページを参照してください。

春の定期採用で採用されると、第一種奨学金の貸与始期は2024年4月(秋は10月)となります(入学年度によりません)。

自宅外通学の場合でも、自宅月額を選択することができます(入学年度によりません)。

最高月額が認められなかった場合に希望する月額を上表の最高月額以外の月額から選択してください。

【2017年度以前入学者(2018年3月以前の入学年月を入力した人)の貸与月額】

大学				短期大学・専修学校（専門課程）			
国・公立		私立		国・公立		私立	
自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円
3万円				3万円			

2017年度以前入学者は、最高月額の選択の制限はありません。

(2) あなたの希望する返還方式を選択してください。
 (注) 所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証」になります。
 (2) 所得連動返還方式 定額返還方式

(3) 第一種奨学金の再貸与を希望しますか。 (3) はい いいえ
 「はい」と答えた人はこれまでに今回申込みと同一学種で貸与を受けた第一種奨学金の奨学生番号を記入してください。
 奨学生番号（半角数字）

第一種奨学金の再貸与を希望する人は、再貸与の制度を確認し、同意する場合のみ、申込みを行ってください。
 (注) 制度等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。

 同意します

第一種奨学金を希望する人は、返還方式を選択できます。「奨学金案内」18ページを確認のうえ、どちらかを選択してください。

過去に同じ学種で第一種奨学金を受けたことがある人は「はい」を選択してください。
第一種奨学金の再貸与制度とは？
 過去に第一種奨学金の貸与を受けた人が、同じ学種（大学、短期大学、専修学校等）で再度新たに第一種奨学金の貸与を受けることができる制度です。詳しくは「奨学金案内」の27ページを参照してください。

⑤一奨学金貸与額情報 直上の(3)で「はい」と答えた人に表示されます。

2. 第二種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。 (1)

2万円	3万円	4万円	5万円	6万円	7万円
8万円	9万円	10万円	11万円	12万円	

(2) あなたは私立大学の医学・歯学・薬学・獣医学課程に在学していますか。 (2) はい いいえ

(3) 「はい」と答えた人でかつ12万円の月額を選択した人のみ増額月額を希望することができます。あなたは（医・歯は4万円増、薬・獣医は2万円増）を希望しますか。
 (3) 4万円 2万円 希望しない

プルダウンリストから希望する月額を選択してください。

(2) (3) は医・歯・薬・獣医学の増額に関する入力項目です。

併用貸与を希望した人に表示されます。併用貸与については、「奨学金案内」6ページを参照してください。

併用貸与を希望し、第二種奨学金で最高月額を選択した人に表示されます。

併用貸与を希望した人は、貸与月額が適切であることを確認後、「はい」を選択してください。

※貸与月額について確認してください。
 あなたは、併用貸与を希望しています。併用貸与を受けると貸与総額及び毎月の返還額が多額となります。この申込手続終了後、貸与月額が適切であるか再度確認してください。なお、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、「家庭事情情報」欄に第二種奨学金の最高月額を必要とする「理由」をご記入いただくこととなります。ご記入いただいた「理由」については、学校担当者から確認等を行う場合があります。
 はい いいえ

(4) あなたは何月分から貸与を希望しますか。
 (注) 奨学生採用後は貸与始期の変更はできません。
 (4) 西暦（半角数字4桁） 年 月

一次採用（春）に申し込む人は、**2024年4～9月のいずれかの月**を入力してください。次の設問3. で入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は、2024年4月を入力してください。二次採用（秋）に申し込む人は、**2024年10月～2025年3月**のいずれかの月を入力してください。応急採用を申し込む人は、「奨学金案内」44ページで申請できる貸与始期を確認してください。

3. 入学時特別増額貸与奨学金を希望する人のみ答えてください。

(1) あなたは入学時特別増額貸与奨学金を希望しますか。
 1年次に入学した人および編入学の人のみ希望することができます。
 (1) はい いいえ

(2) 「はい」と答えた人は、希望する額を選択してください。
 (2) 10万円 20万円 30万円 40万円 50万円

入学時特別増額貸与奨学金は、入学した学校において1回しか受けることができません。そのため、**すでに入学時に入学時特別増額貸与奨学金の貸与を受けたことがある場合は、「いいえ」を選んでください。**編入学の人が編入学時に入学時特別増額貸与奨学金を希望する場合は「いいえ」を選択して学校へ申し出てください。なお、入学時特別増額貸与奨学金は、「国の教育ローン」を利用できない人を対象としており、第二種奨学金と同様に有利子です。「奨学金案内」7ページも参照してください。

4. 第二種奨学金または入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は答えてください。

(1) あなたの希望する利率の算定方法を選択してください。
 (1) 利率固定方式 利率見直し方式

返還時の利率の算定方法を選択する項目です。詳しくは「奨学金案内」16ページを参照してください。

STEP4

⑥-あなたの履歴情報

1. あなたの最終学歴を記入してください。

1. 西暦 (半角数字 4桁) []年 []月 []月 ▼卒業または退学

直近に卒業または退学した学校の年月及び学校を選択してください。

2. あなたは国内の高等学校 (本科) を卒業しましたか。

緊急採用・応急採用を申し込む人は異なる設問が表示されますが、画面表示に従い入力してください。

※ここでいう「高等学校」には、国内の中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、高等専門学校 (第1学年から第3学年まで) 又は専修学校の高等課程 (修業年限が3年以上のもの) を含みます。(インターナショナルスクールや在外教育施設等は含みません。)

※現在、高等専門学校の第1学年から第3学年まで在学中の場合は入力不要です。

○はい ○いいえ

「はい」と答えた人にお聞きます。

あなたがはじめて国内の高等学校を卒業した年月を記入してください。

西暦 (半角数字 4桁) []年 []月

高等学校卒業後に専修学校高等課程などに進学・卒業した場合、「あなたがはじめて国内の高等学校を卒業した年月」は専修学校高等課程ではなく高等学校の卒業年月を入力してください。

「いいえ」と答えた人にお聞きます。

あなたが現在通っている学校への入学前の履歴は次のうちどちらになりますか。

○高等学校卒業程度認定試験合格者

○その他 (インターナショナルスクール、在外教育施設等)

「高等学校卒業程度認定試験合格者」と答えた人にお聞きます。

あなたは高等学校卒業程度認定試験にいつ合格しましたか。

西暦 (半角数字 4桁) []年 []月

高等専門学校を卒業した場合、第3学年修了年月を入力してください (高等課程2年間を含まない年月を入力してください)。(例) 高等専門学校 (高等課程) を2024年3月に卒業⇒高等学校を卒業した年月は2022年3月

あなたは、高等学校卒業程度認定試験の受験資格を取得した年度 (16歳になる年度) から高等学校卒業程度認定試験合格者となった年度まで5年を経過していますが、5年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験していましたか。

○はい ○いいえ

「その他」と答えた人にお聞きます。

あなたが卒業又は修了した「その他」の学校名 (正式名称) とその学校を卒業又は修了した年月を記入してください。

[]年 []月

西暦 (半角数字 4桁) []年 []月

「5年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験していた」とは、下記のような場合が該当します。(例) ・16歳になる年度: 2015年度 ・16歳になる年度から5年経過 ⇒ 2020年4月1日以降 ・2020年度、2021年度に高等学校卒業程度認定試験受験 (不合格) ・2022年度に高等学校卒業程度認定試験受験 (合格)

3. 【給付】あなたはこれまでに、日本学生支援機構の給付奨学金 (原則、返還不要) を受けていますか。(現在支給が終了しているものを含む)

○はい ○いいえ

【貸与】あなたはこれまでに、「②-奨学金申込情報」で入力した他に日本学生支援機構の貸与奨学金 (第一種・第二種) (原則、要返還) を受けていますか。(現在貸与が終了しているものを含む) ○はい ○いいえ

上のいずれかの設問で「はい」を選択した人は、その奨学生番号を記入してください。

※第一種奨学金を利用している人が給付奨学金を受給する場合は、貸与額が調整されます。

※貸与・給付を受けた奨学金が複数ある場合は、「追加」ボタンを押して、すべての奨学生番号を記入してください。

※奨学生番号の記入を取り消す場合は、「削除」ボタンを押してください。

②-奨学金申込情報で入力した奨学生番号以外に、日本学生支援機構の給付奨学金又は貸与奨学金を受けている、あるいは受けたことがある場合は、設問にて「はい」を選択のうえ、その奨学生番号を全て入力してください。②-奨学金申込情報で入力した奨学生番号以外に奨学金を受けたことがない場合は、設問で「いいえ」を選択してください。なお、採用取消となったものは入力しないでください。高校在学中に、都道府県等 (日本学生支援機構及び日本育英会以外) から奨学金の貸与を受けていた人は、「いいえ」を選んでください。高等学校及び専修学校高等課程の奨学金は、平成17年度入学者より、日本学生支援機構から各都道府県に移管されました。

②-奨学金申込情報で入力した奨学生番号は入力しないでください。奨学生番号が複数ある場合は「追加」ボタンを押してすべての奨学生番号を記入してください。記入を取り消す場合は「削除」ボタンを押してください。

奨学生番号 1 [] [] [] [] ▼ [] [] [] [] 削除 追加

半角数字	例	奨学生番号 1	612	04	999999	削除	追加
	奨学生番号 2	619	08	999999	削除	追加	
	奨学生番号 3	810	01	999999	削除	追加	
	奨学生番号 4	815	02	999999	削除	追加	
	奨学生番号 5				削除	追加	

※第二種奨学金の貸与について確認してください。

あなたは、これまでに同一の学校区分で2回以上、第二種奨学金の貸与を受けています。日本学生支援機構の規定により、これ以上第二種奨学金を申し込むことができない場合や借りられる期間が制限される場合があります。 確認しました

同一の学校区分 (大学・短期大学・専修学校等) で2回以上第二種奨学金の貸与を受けている人に表示されます。

STEP5

⑦一保証制度

1. あなたが希望する保証制度を選択してください。

○ (1) 機関保証

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。

 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。

○ (2) 人的保証

※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。

 制度の内容について承知し、人的保証を選択します。

チェックを入れないと次に進むことができません。

併願又は併用で申し込み（STEP3 画面にて、次の選択肢を選択した場合）、

(2) 第1希望：第一種奨学金 第2希望：第二種奨学金

(4) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用）

(5) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用） 第2希望：第一種奨学金

(6) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用） 第2希望：第一種奨学金 第3希望：第二種奨学金

(7) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用） 第2希望：第二種奨学金

かつ第一種奨学金の返還方法を「所得連動返還方式」と選択した場合

③ページ「②一奨学金申込情報」参照

1. 第一種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

所得連動返還を希望する場合、保証制度は「機関保証」のみになります。「人的保証」は選択できません。

● (1) 機関保証

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。

 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。

所得連動方式を希望する場合、第一種奨学金の保証制度は「機関保証」となります（人的保証は表示されません）。詳細は18ページ 9 を参照してください。

2. 第二種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

○ (1) 機関保証

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。

 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。

○ (2) 人的保証

※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。

 制度の内容について承知し、人的保証を選択します。

チェックを入れないと次に進むことができません。

STEP6

⑧一貸与奨学金返還誓約書情報・給付奨学金本人等情報

1. あなた自身について入力してください。

(1) あなたのお名前は△△ ○○さんですね。

(2) あなたの性別を選択してください。（任意）

(2) ▼

(3) あなたの生年月日は××年△△月○○日ですね。

(3) 成年判定

(4) あなたの現住所を記入してください。

※申込者本人のマイナンバーを申込時に提出できない場合は、住民票住所を入力してください。

(4) (郵便番号) (半角数字) - 住所 1 (自動入力) 住所 2 (番地以降) (全角文字)

(5) あなたの電話番号を記入してください。

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(5) (半角数字) - - 携帯電話の電話番号を記入してください。 (携帯) (半角数字) - -

①一あなたの氏名・誓約情報で入力した姓名が表示されます。

①一あなたの氏名・誓約情報で入力した生年月日により判定されます。

・あなたのマイナンバーを申込時に提出できない場合は、住民票住所の入力が必要です。

※下記の「住所の入力例」参照。
・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

住所の入力例

(郵便番号) 162 - 9999 ←押下

注意！

表示された住所一覧の中から、正しい住所を選択してください。

住所1(自動入力) ○東京都 新宿区 市谷本村町 1丁目
○東京都 新宿区 市谷本村町 2丁目
○東京都 新宿区 市谷本村町 3丁目住所2(番地以降) 99-9 機構ハイツ505

注意！

※番地以降を全て全角で入力してください（英数字やハイフン、スペースを含む）。入力漏れがあると次の画面に進めません。

※番地以降のない住所は、住所2欄に全角で「. (ピリオド)」を入力してください。

※住所2欄には、住所1欄の表示部分を入力しないでください。

左記例の場合、住所1欄で「1丁目」を選択し、住所2欄に誤って「1丁目99-9…」と入力した場合、届出内容は「1丁目1丁目99-9…」となります。

※住所、電話番号に海外の住所等を入力することはできません。連絡の取れる国内の住所、電話番号の入力をしてください。

⑦-保証制度で「(1) 機関保証」を選択した人

2. 本人以外の連絡先について

あなたは保証制度画面で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力してください。

(1) その氏名

姓 名

(1) 漢字 (全角漢字)

カナ (全角カナ)

(2) その生年月日 (2) 年 月 日生

(3) あなたとの続柄 (3)

(4) その住所 (4) (郵便番号) (半角数字) -

住所1 (自動入力)

住所2 (番地以降) (全角文字)

(5) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(5) (半角数字) --

その携帯電話の電話番号 (携帯) (半角数字) --

⑦-保証制度にて「機関保証」を選択した場合に表示されます。

機関保証を選択した人は、あなた（本人）以外の連絡先を入力する必要があります。あなたに送付する重要な書類が届かない場合等に、ここに入力した連絡先に、あなたの住所・電話番号を照会することがあります。

※注意！「本人以外の連絡先」を入力する前に、必ずその人の承諾を得てください。ここで入力した「本人以外の連絡先」は採用されると返還誓約書に印字されます。万一、返還誓約書に自署してもらえないと不備となり奨学生の資格を失うこととなります。

※⑨ページの「住所の入力例」参照。

・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

⑦-保証制度で「(2) 人的保証」を選択した人

3. 連帯保証人と保証人について

あなたは保証制度画面で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。

(1) 連帯保証人について入力してください。

・(あなた(申込者)が成年の場合)原則として、父母・兄弟姉妹又はおじ・おば等に入してください。

・未成年者等保証能力がない人は認められません。

・債務整理(破産等)中の人を連帯保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

姓 名

(a) 漢字 (全角漢字)

カナ (全角カナ)

(b) その生年月日 (b) 年 月 日生

(c) あなたとの関係 (c)

未成年後見人の場合は、その続柄

(d) その住所

・連帯保証人の印鑑登録証明書(市区町村発行)に記載されている住所を入力してください。

※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) (郵便番号) (半角数字) -

住所1 (自動入力)

住所2 (番地以降) (全角文字)

(e) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(e) (半角数字) --

その携帯電話の電話番号 (携帯) (半角数字) --

(f) その勤務先 (f) (全角文字)

勤務先電話番号 (半角数字) --

※連帯保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

無職

⑦-保証制度にて「人的保証」を選択した場合に表示されます。

連帯保証人・保証人の選任条件は必ず「奨学金案内」24～26ページを確認してください。

※⑨ページの「住所の入力例」参照。

・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農業」と入力してください。

無職の場合は「その勤務先」には何も入力しないでください。

人的保証を選択した人は、11ページの「(2)保証人について入力してください。」を記入してください。

⑦-保証制度で「(2) 人的保証」を選択した人(続き)

(2) 保証人について入力してください。

- ・原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。
- ・未成年者等保証能力がない人は認められません。
- ・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

姓	名
(a) 漢字(全角漢字)	<input type="text"/>
カナ(全角カナ)	<input type="text"/>

(b) その生年月日 (b) 年 月 日生

(c) あなたとの続柄 (c)

(d) その住所

・保証人の印鑑登録証明書(市区町村発行)に記載されている住所を入力してください。

※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) (郵便番号)(半角数字) -

住所1(自動入力)

住所2(番地以降)(全角文字)

(e) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(e) (半角数字)

その携帯電話の電話番号 (携帯)(半角数字) --

(f) その勤務先 (f) (全角文字)

勤務先電話番号 (半角数字) --

※保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

(g) 連帯保証人と保証人は別生計ですね。 (g) はい いいえ 無職

※連帯保証人、保証人に相応しい人物かどうか、入力情報を元に判定を行います。年齢による判定では、各人物の誓約日(⑦-あなたの氏名・誓約情報で入力した年月日)時点での年齢を元に判定を行います。

あなたからみた続柄です。
(例) おじ、おば

※以下の場合、「その他(知人等)」と記入(選択)してください。
・離婚により親権を失った父母
・養子縁組により親権を失った本人の実父母
・配偶者の父母
(「父(母)」や「その他(4親等以内)」を選択しないでください。)

※9ページの「住所の入力例」参照。
・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらも入力してください。

自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農業」と記入してください。
無職の場合は「その勤務先」には何も入力しないでください。

連帯保証人・保証人について

⑦-保証制度で「人的保証」を選択した人は、連帯保証人及び保証人を1人ずつ(合計2人)入力する必要があります。

連帯保証人は、奨学金の返還についてあなたと同等の責任を負います。

保証人には、「分別の利益」が適用されます。また、「検索の抗弁権」及び「催告の抗弁権」があります(連帯保証人にはありません)。

詳しくは、「奨学金案内」24ページを参照してください。

また、「奨学金案内」24～26ページにより、選任した連帯保証人・保証人が機構の定める条件を満たすかどうかチェックしてください。選任条件を全て満たし、かつ必要書類を提出できる場合は、連帯保証人・保証人として選任できますので、10ページの3の(1)、及び本ページの3の(2)を記入してください。

もし、1つでも選任条件を満たさない、又は必要書類を提出できない場合は、連帯保証人・保証人として選任できません。あらかじめ条件に合致する別の人物を選任しなおしてください。条件に合致する人物を選任できない場合は、⑦-保証制度で「機関保証」を選択し、保証制度を変更してください。

採用時に提出しなければならない書類(返還誓約書)には、スカラネットで入力した連帯保証人及び保証人が自署・押印(実印)し、印鑑登録証明書等を添付しなければなりません。スカラネット入力前に、連帯保証人・保証人として予定している人に役割、自署・押印、提出書類について説明し、奨学金の返還について引き受けることの承諾を得ておいてください。

STEP7

⑨-あなたの家族情報

1. あなたは社会的養護を必要とする人ですか。 はい いいえ

「はい」と答えた人は、あてはまるものを選択してください。

児童養護施設入所者等 児童自立支援施設入所者等

児童心理治療施設入所者等 自立援助ホーム入所者等

里親に養育されている(いた)人 ファミリーホームで養育されている(いた)人

「はい」を選択する人は、施設に入所していた(入所している)、又は里親による養育を受けていたことがわかる日付が記載された証明書類の提出が必要です。
(証明書類の例)
施設等在籍証明書(施設長発行)、児童(里親)委託証明書(児童相談所発行)、措置解除決定通知書(児童相談所発行)等
※機構の所定様式「施設等在籍・退所証明書」でも可。

2. 生計維持者(原則父母、父母がいない場合は代わって生計を維持する人)について記入してください。

1で「はい」と回答した人については、生計維持者について一部自動表示されます。

※父母がいる場合は、収入の有無に関わらず必ず父母ともに生計維持者として入力が必要です(離婚等により完全に別生計の人を除く)。

(1) あなたの生計維持者の人数を選択してください。 (1) 人

※生計維持者については、必ず「奨学金案内」13～14ページを確認してください。
生計維持者とは、あなたの生計を維持する人という意味であり、原則父母(父母ともいる場合2人とも)としています。無収入の場合でも、生計維持者として入力する必要があります。入力漏れがないか確認してください。

生計維持者は最大2人です。
緊急採用・応急採用を申し込む人はこの設問は表示されません。

(2) 生計維持者① (父母のいずれか、父母がいない場合は代わって生計を維持する人)

(a) あなたとの続柄 (a) ▼

(b) 生計維持者①の氏名
姓 名
(b) 漢字 (全角漢字)
カナ (全角カナ)

(c) 生計維持者①の住所 (c) (郵便番号) (半角数字) - 住所検索
住所 1 (自動入力)
住所 2 (番地以降) (全角文字)

(d) 生計維持者①の生年月日 (d) 年 月 日生

(e) 生計維持者①のマイナンバーを機構に提出する準備はできていますか。

(注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。
(注2) 家計審査のため、マイナンバーの提出が必要です。
提出できない場合は、別途毎年所得証明書等の証明書類の提出が必要となります。

準備できている
 これから準備する
 その他 ▼

(f) 生計維持者①は2022年1月2日以降に転職しましたか。
※転職している場合でも、減収していない場合には、「いいえ」を選択してください。
 はい いいえ

「はい」を選択した場合も、マイナンバーで連携した情報 (2022年1月～2022年12月の収入情報) にて審査を行います。ただし、選考結果によっては、書面による直近の給与明細等の提出により、再審査を希望することができます。次から選択してください。

第一希望の貸与奨学金が不採用となる場合、給与明細等を書面で提出し、再審査を希望します。
※再審査を希望する場合には、追加で生計維持者の給与明細等の提出が必要になることがあります。また、書面審査には1～2か月かかりますので、選考が大幅に遅れることがあります。
 上記の内容を理解の上、直近の給与明細等を書面で提出する審査を希望します。

直近の給与明細等を書面で提出する審査を希望しません。
※なお、給付奨学金については、直近の給与明細等での審査は行いません。

(g) 生計維持者①は2023年1月1日の時点で生活保護を受けていましたか。
 はい いいえ

(h) 生計維持者①は2023年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。
 はい いいえ

(3) 生計維持者② (父、母など)

(a) あなたとの続柄 (a) ▼

(b) 生計維持者②の氏名
姓 名
(b) 漢字 (全角漢字)
カナ (全角カナ)

(c) 生計維持者②の住所 (c) (郵便番号) (半角数字) - 住所検索
住所 1 (自動入力)
住所 2 (番地以降) (全角文字)

(d) 生計維持者②の生年月日 (d) 年 月 日生

(e) 生計維持者②のマイナンバーを機構に提出する準備はできていますか。

(注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。
(注2) 家計審査のため、マイナンバーの提出が必要です。
提出できない場合は、別途毎年所得証明書等の証明書類の提出が必要となります。

準備できている
 これから準備する
 その他 ▼

生計維持者①の入力は必須です。
ここで入力した人物についてマイナンバーを提出する必要があります。

離婚後に父母が再婚 (事実婚含む) している場合は、再婚相手も生計維持者として入力する必要があります。その際は、養子縁組の有無に関らず、再婚相手の続柄は父又は母を選択してください。

「貸与奨学金案内」37ページを参照しながら、生計維持者①の本名を全角で入力してください。

海外の住所を入力することはできません。
連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。

二次採用 (秋) で奨学金を申し込む場合は、2022年を2023年に読み替えてください。

緊急採用・応急採用に申し込む人は、この設問は表示されません。

二次採用 (秋) で奨学金を申し込む場合は、2023年を2024年に読み替えてください。

緊急採用・応急採用に申し込む人でスカラネット入力完了日 (申請日) が2024年10月以降になる人は、2023年を2024年に読み替えてください。

父母のうち (2) に入力した人ではない人を、必ず入力してください。定期採用の申込者は、ここで入力した人物についてマイナンバーを提出する必要があります。
※一人親の場合は (3) の入力は不要です。
※父母ともいない場合で代わって生計を維持している人がいるときは、主に生計を維持している人を (2) 生計維持者①に入力してください。 (3) の入力は不要です。

離婚後に父母が再婚 (事実婚含む) している場合は、再婚相手も生計維持者として入力する必要があります。その際は、養子縁組の有無に関らず、再婚相手の続柄は父又は母を選択してください。

「貸与奨学金案内」37ページを参照しながら、生計維持者②の本名を全角で入力してください。

海外の住所を入力することはできません。
連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。

注意！口座情報に誤りがあると、奨学金の初回振込が大幅に遅れることがあります。

入力しようとしている口座が奨学金を受け取れる口座かどうか、次のチェックリストを使って確認してください。

- あなた本人の預・貯金口座です。
 - 銀行等の普通預金口座、または、ゆうちょ銀行の通常貯金口座です。
 - 誓約欄のカナ氏名と通帳の口座名義人（カナ）は完全に同一です。
 - 金融機関名・支店名・口座番号（ゆうちょ銀行以外の場合）、または記号・番号（ゆうちょ銀行の場合）は正しいです。（※）
 - この通帳は1年以内に記帳できました（休眠口座ではありません）。
 - 農協、信託銀行、外資系銀行、SBI新生銀行、あおぞら銀行、ネットバンク、コンビニ銀行等の口座ではありません。
- ※ 3か月以内に新設された支店は選択できない場合があります。

STEP9

①-奨学金振込口座情報

1. 公金受取口座の利用を希望しますか。 1. 希望します 希望しません

公金受取口座とは

2. 奨学金を振り込む金融機関を選択してください。 2. 銀行等 ゆうちょ銀行

設問1で「（公金受取口座の利用を）希望します」を選択した場合、奨学金の振込先は原則としてあなたが国（デジタル庁）に事前登録した公金受取口座となります。ただし、あなたの公金受取口座情報を機構が利用できない場合に備えて、奨学金の振込先となる口座情報を入力する必要があります。なお、公金受取口座と同じ口座情報を入力して構いません。

【銀行等を選択した場合】

金融機関名および支店名を選択してください。

(1) 金融機関名の読みの先頭1文字を選択してください。 (1)

1 (2) 金融機関名を選択してください。 (2)

(3) 支店名の読みの先頭1文字を選択してください。 (3)

2 (4) 支店名を選択してください。 (4)

3. 預金通帳等で確認後、口座番号を入力してください。

3 3. 普通（総合）口座

確認のため、再度口座番号を入力してください。 確認用

4. 口座名義人を入力してください。（口座名義人は本人に限ります） **4**

4. 口座名義人（全角カナ） 姓 名

【ゆうちょ銀行を選択した場合】

3. 貯金通帳等で確認後、口座の記号・番号を入力してください。

1 記号 **2** 番号

確認のため、再度口座の記号・番号を入力してください。

確認用 -

4. 口座名義人を入力してください。（口座名義人は本人に限ります） **3**

4. 口座名義人（全角カナ） 姓 名

奨学金申込の時点で公金受取口座を登録済である人のみ、「希望します」を選択することができます。ただし、公金受取口座が奨学金の振込に利用できない口座（「奨学金案内」15ページ参照）の場合は、「希望しません」を選択してください。

注意事項を記載していますので、公金受取口座の利用を希望する場合はこのボタンを押して必ず確認してください。

番号が7桁に満たない場合は、そのままの桁数で入力してください。

口座名義人は、①-あなたの氏名・誓約情報で入力したあなた本人のカナ氏名と完全に同一である必要があります。 ※姓と名でそれぞれ15文字まで入力できます。 ※姓が15文字以上ある人は、15文字まで姓に inputsし、16文字以降は名に inputsしてください。 ※ミドルネームがある人は、名の欄に「ミドルネーム」と「名前」をスペースなしで inputsしてください。

「記号」と「番号」の間に数字がある場合は、その数字は inputsしないでください。 ※番号が8桁に満たない場合は、そのままの桁数で inputsしてください。

【通帳の口座名義人・口座情報が記載されているページの「コピーをここに貼り付け」】

4 **普通預金** **銀行等**

キョウコウ知ク

金額	変更後金額	店番	口座番号
円	円	***	*****

株式会社 × × 銀行 **1**

口座店 × × 支店 **2**

TEL × × × (× × ×) × × × ×

ご預金案内のご紹介先 × × × × × × × × × ×

お振込入金 × × × (× × ×) × × × ×

印紙税中含納付につき趣意 税務署承認済

1 **2** **ゆうちょ銀行**

記号 番号

1***0 ******1

おなまえ

キョウコウ知ク 様 **3**

株式会社ゆうちょ銀行 (金融機関コード:9900)

通帳作成地 東京都千代田区豊洲1-2-2 株式会社ゆうちょ銀行

この番号では振込みできません

この口座を他金融機関からの振込みの受取口座として利用される際は次の内容をご指定ください。

【店名】一九八(読みイヂキョウハチ)

【店番】198 【預金種目】普通預金 【口座番号】0123456

入力後、「次へ」ボタンを押すと、奨学金振込口座情報確認に進みます。口座情報に誤りがなければ確認してから、「次へ」ボタンを押してください。以降は「奨学金案内」40ページを見ながら、画面の指示に従って進めてください。

〇ー緊急・応急採用情報

1. 家計が急変した生計維持者の人数を入力してください。

人

【注意事項】
家計が急変した事由が以下の場合、その急変者については「〇ーあなたの家族情報」画面に生計維持者として登録しないようにしてください。
1) 生計維持者が死亡
5) 父母等による暴力等から避難
6) 生計維持者との離別（離婚・行方不明等）
以下の「入力済みの生計維持者を確認する」により、あなたが入力した生計維持者を確認できます。上記の事由の場合、急変者を生計維持者として入力していないか確認してください。生計維持者として入力している場合は、「〇ーあなたの家族情報」画面に戻り、生計維持者の情報を修正してください。

(注)
この情報欄は、申込画面においては「〇ー家庭事情情報」の後に表示されます。緊急採用・応急採用の申込者のみ入力してください。
なお、定期採用と緊急採用・応急採用では、設問数が異なるため、設問番号を「〇ー」としてはいますが、実際のスカラネット画面では設問番号が表示されます。

急変した生計維持者は最大2人です。

下矢印を押すことで入力済みの生計維持者の「続柄」、「氏名」が表示されます。

入力済みの生計維持者を確認する

「〇ーあなたの家族情報」生計維持者①	「〇ーあなたの家族情報」生計維持者②
続柄： 氏名：	続柄： 氏名：

2. 家計が急変した状況について、急変者ごとに入力してください。

(1) 急変者1（家計が急変した生計維持者1人目）

(a) あなたからみた急変者1の続柄を選択してください。

- 父
- 母
- その他

急変者1は必ず入力してください。

「その他」の場合は、プルダウンリストに表示される以下の選択肢から該当する続柄を選んでください。
「兄」、「姉」、「弟」、「妹」、「祖父」、「祖母」、「おじ」、「おば」、「配偶者」、「子」、「申込者本人」、「その他」

(b) 家計が急変した事由（該当する事由を1つ選択してください。）

● 1) 生計維持者が死亡

※死亡した人物については、「〇ーあなたの家族情報」画面に生計維持者として登録しないでください。（【注意事項】参照）
※被災等により、生計維持者が死亡した場合は、「〇ー家庭事情情報」画面に被災した災害（災害が発生した日付、被災地域）を入力してください。

該当する事由を1つ選択してください。

● 2) 事故、病気等

以下の該当するものを選択してください。
（いずれにも該当する場合は、【休職による収入減少】を選択してください。）
※【休職による収入減少】について、既に復職している場合は申請できません。

「事故、病気等」の場合、必ず該当する事由を1つ選択してください

生計維持者が事故、病気等となり就労困難【休職による収入減少】（家族の看護、介護による休職を含む）

同一生計の家族が事故、病気等となり家計が急変【生計維持者の支出増大】（生計維持者自身の治療費等による支出増大を含む）

● 3) 生計維持者が失職（退職、会社倒産、廃業）

定年退職や、独立生計者の進学を理由とする退職の場合も申請できます。
※失職後に再就職、起業している場合は申請できません。

「震災、火災、風水害等に被災」の場合、必ず該当する事由を1つ選択してください。

● 4) 生計維持者が震災、火災、風水害等に被災

以下の該当するものを選択してください。
※被災等により、生計維持者が死亡した場合は、「1) 生計維持者が死亡」を選択してください。
※被災等により、生計維持者が行方不明や生死不明の場合は、「6) 生計維持者との離別（離婚・行方不明等）」を選択してください。

被災等により、収入が無くなった

被災等により、収入が減った

被災等により、支出が増えた（収入状況は変化なし）

プルダウンリストの中に該当の災害があれば選択してください。

被災した災害が以下の選択肢にある場合は、該当のものを選択してください。

● 5) 父母等による暴力等から避難

父母等による暴力等から避難している状況が分かる証明書類の提出が必要です。
※避難の原因となった人物（暴力等を加えた者）については、「〇ーあなたの家族情報」画面に生計維持者として登録しないでください。（【注意事項】参照）

● 6) 生計維持者との離別（離婚・行方不明等）

※離婚調停中で別居しており、同一生計と認められない場合は申請できません。
※被災等により、生計維持者が行方不明や生死不明の場合は、「〇ー家庭事情情報」画面に被災した災害（災害が発生した日付、被災地域）を入力してください。
※離別した人物については、「〇ーあなたの家族情報」画面に生計維持者として登録しないでください。（【注意事項】参照）

申込期限は事由発生日から12か月以内（事由発生が進学前の場合は、進学後3か月以内）です。スカラネット入力完了日（申請日）時点で期限を過ぎている場合は、申請要件に該当しません。貸与奨学金案内44ページも参照してください。

(c) 家計が急変した事由が発生した年月日（半角数字）

西暦（4桁） 年 月 日

(d) 家計が急変した事由が発生した日の翌月から現在までの収入について、該当するものすべてを選択してください。

収入の確認が必要となる事由を選択した場合は、収入の項目が表示されます。家計急変事由が発生した年月日の翌月からスカラネット入力完了日（申請日）の前月までに税の申告が必要な収入がある場合は、該当する項目にチェックを入れてください。

■ 1) 給与所得

給与所得として申告する収入がある場合は、以下の書類の提出が必要です。

【提出書類】
・給与明細書、賞与明細書
※賞与がある場合は賞与明細書の提出が必要です。
※収入がない月（給与支給0円）であっても給与明細の提出が必要です。
※複数の勤務先等から給与収入を得ている場合はすべて提出する必要があります。
※役員報酬は給与所得です。

■ 2) 事業所得（営業所得、農業所得）

確定申告で事業所得として申告する収入がある場合は、以下の書類の提出が必要です。

【提出書類】
・帳簿
・自営業等の所得金額計算書（機構所定様式）
※事業所得が0円以下であっても帳簿の提出が必要です。
※月ごとの帳簿を提出する場合、売り上げや経費の計上に関する取扱いは確定申告と同じです。

■ 3) 年金（公的年金等控除が適用される年金）

雑所得（業務・その他）として申告する年金の場合は「5) 雑所得」を選択してください。
年金（公的年金等控除が適用される年金※）として申告する収入がある場合は、以下の書類の提出が必要です。

【提出書類】
・年金振込通知書、年金額改定通知書等
※公的年金等控除が適用される公的年金及び一定の企業年金（厚生年金基金、確定給付企業年金、確定拠出年金）等、その他私的年金であっても公的年金等控除が適用される年金（支払通知書で確認してください。）

■ 4) 不動産所得

確定申告で不動産所得として申告する収入がある場合は、以下の書類の提出が必要です。
【提出書類】
・帳簿 ・ 自営業等の所得金額計算書（機構所定様式）
※月ごとの帳簿を提出する場合、売り上げや経費の計上に関する取扱いは確定申告と同じです。

■ 5) 雑所得（「3）年金」を除く）

確定申告で雑所得（業務・その他）として申告する収入がある場合は、以下の書類の提出が必要です。
【提出書類】
・帳簿 ・ 自営業等の所得金額計算書（機構所定様式）
※月ごとの帳簿を提出する場合、売り上げや経費の計上に関する取扱いは確定申告と同じです。
※雑所得に該当する年金の場合は、帳簿に代えて振込通知書等の提出でも構いません。

■ 6) 利子所得

確定申告で利子所得として申告する収入がある場合は、以下の書類の提出が必要です。
【提出書類】
・帳簿 ・ 自営業等の所得金額計算書（機構所定様式）
※月ごとの帳簿を提出する場合、売り上げや経費の計上に関する取扱いは確定申告と同じです。

■ 7) 配当所得

確定申告で配当所得として申告する収入がある場合は、以下の書類の提出が必要です。
【提出書類】
・帳簿 ・ 自営業等の所得金額計算書（機構所定様式）
※月ごとの帳簿を提出する場合、売り上げや経費の計上に関する取扱いは確定申告と同じです。

■ 8) 譲渡所得

確定申告で譲渡所得として申告する収入がある場合は、以下の書類の提出が必要です。
【提出書類】
・帳簿 ・ 自営業等の所得金額計算書（機構所定様式）
※月ごとの帳簿を提出する場合、売り上げや経費の計上に関する取扱いは確定申告と同じです。

■ 9) 一時所得

確定申告で一時所得として申告する収入がある場合は、以下の書類の提出が必要です。
【提出書類】
・帳簿 ・ 自営業等の所得金額計算書（機構所定様式）
※月ごとの帳簿を提出する場合、売り上げや経費の計上に関する取扱いは確定申告と同じです。

■ 10) 山林所得

確定申告で山林所得として申告する収入がある場合は以下の書類の提出が必要です。
【提出書類】
・帳簿 ・ 自営業等の所得金額計算書（機構所定様式）
※月ごとの帳簿を提出する場合、売り上げや経費の計上に関する取扱いは確定申告と同じです。

■ 11) 家計が急変した事由が発生した日の翌月から現在までに、1)～10)の収入はありません

以下のフローチャートを使って、未申告の収入がないことを確認してください。
提出書類の自己点検用フローチャート

(2) 急変者2（家計が急変した生計維持者2人目） ←

(a) あなたからみた急変者2の続柄を選択してください。

父
 母
 その他

(b) 家計が急変した事由（該当する事由を1つ選択してください。） ←

1) 生計維持者が死亡
 2) 事故、病気等
 3) 生計維持者が失職（退職、会社倒産、廃業）
 4) 生計維持者が震災、火災、風水害等に被災
 5) 父母等による暴力等から避難
 6) 生計維持者との離別（離婚・行方不明等）

(c) 家計が急変した事由が発生した年月日（半角数字）
西暦（4桁） 年 月 日

(d) 家計が急変した事由が発生した日の翌月から現在までの収入について、該当するものすべてを選択してください。 ←

1) 給与所得
 2) 事業所得
 3) 年金（公的年金等控除が適用される年金）
 4) 不動産所得
 5) 雑所得（「3）年金」を除く）
 6) 利子所得
 7) 配当所得
 8) 譲渡所得
 9) 一時所得
 10) 山林所得
 11) 家計が急変した事由が発生した日の翌月から現在までに、1)～10)の収入はありません

(3) 家計が急変した状況について、急変者ごとに入力した内容に誤りがないかをもう一度確認してください。
・家計が急変した事由や、事由が発生した年月日に誤りがないか。
・申告した収入について未申告のものがないか。
※家計急変事由や各収入項目の注意事項についても、必ず確認してください。
 確認しました ←

家計が急変した生計維持者の人数を2人とした場合、2人目にも入力をしてください。（1人とした場合、(2)の設問は表示されません。）

該当する項目を選択すると、急変者1と同様に、説明や追加質問が表示されます。

急変者1、急変者2の状況について入力内容に誤りがないかを確認したうえでチェックをしてください。

貸与始期は、家計急変事由が生じた年月（申込みから12か月以内。入学した月を限度として遡及可）以降を入力してください。休学、留年に相当する間を貸与始期にすることはできません。詳しい条件は貸与奨学金案内44ページを参照してください。

応急採用（第二種）を申し込む人の貸与始期は、○一奨学金貸与額情報 2.(4)に記入してください。

スカラネット入力画面ではあなたが○一奨学金貸与額情報 2.(4)で入力した年月が表示されます。

3.緊急採用の第一種奨学金を申込みの人のみ、希望する貸与始期を入力してください。（半角数字）
なお、あなたの希望する応急採用の第二種奨学金の貸与始期は、2024年4月です。
西暦（4桁） 年 月 日 ←

貸与奨学金

2024年度 第一種奨学金
第二種奨学金

確認書兼個人情報情報の取扱いに関する同意書

〔大学・短期大学・専修学校専門課程〕

日本学生支援機構が実施する第一種奨学金及び第二種奨学金は、借入金（貸与奨学金）です。確認書の裏面に記載の事項は、「貸与奨学金案内」に記載している内容です。冊子をよく読み、内容を理解したうえで記入してください。

特に

貸与奨学金を申し込む前に
知ってほしい大切なこと

・ここでは、「確認書」に記載されている内容のうち、特に大切な事項をまとめました。

特に大切なこと ※は確認書の記載箇所	借りるとき	返すとき
1. 奨学金を借りるには、「 機関保証 」（保証機関への保証料の支払いが必要）か、「 人的保証 」（父母及び親族などが保証）の どちらかを選ぶ 必要があります。※確認書裏面【保証】（4）	●	
2. 「 機関保証 」を選んだ人の振込額は、 貸与月額から保証料が差し引かれた金額 になります。※確認書裏面【保証】（4）	●	
3. 奨学金を借りるには、個人情報情報の取扱いに同意する必要があります。個人情報情報機関には、 延滞した場合のみ個人情報登録 されます。※確認書表面に記載	●	●
4. 奨学金を借りるには、「 返還誓約書 」などの 提出が必要 です。なお、「返還誓約書」を提出しないと奨学生としての資格を失い、 振込済奨学金の全額を返金しなければなりません 。※確認書裏面【返還誓約書（兼個人情報情報の取扱いに関する同意書）】（5）	●	
5. 過去に奨学金を借りたことがある人は、借りることができない場合があります。また、外国籍の人は、 在留資格によって借りることができない場合があります 。※確認書裏面【貸与期間の取扱い】（8）【申込資格】（10）	●	
6. 奨学金は、 学生本人の口座に振り込まれます。本人以外の口座には、振り込むことができません 。※確認書裏面【振込】（11）（12）	●	
7. 無利子の第一種奨学金は、返還方式として「 定額返還方式 」か「 所得連動返還方式 」の どちらかを選ぶ 必要があります。※確認書裏面【返還方式】（1）～（3）	●	
8. 第一種奨学金と給付奨学金もしくは大学等における修学の支援に関する授業料減免を受けているときは、第一種奨学金の貸与額が増額又は減額されることがあります。※確認書裏面【月額の変更】（14）	●	
9. 利子付きの第二種奨学金は、利率の算定方法として「 利率固定方式 」か「 利率見直し方式 」の どちらかを選ぶ 必要があります。※確認書裏面【利率の算定方法】（15）～（17）	●	
10. 学業成績不振などの場合は、奨学生の資格を失い、奨学金の貸与が打ち切られる場合があります 。※確認書裏面【貸与中の手続き等】（21）	●	
11. 奨学金を返す時期は、貸与が終了する月の翌月から数えて7か月目からになります。例えば、3月に卒業する人は、10月から返還が始まります。なお、奨学金を返すための 振替用口座（リレー口座）に加入する必要があります 。返還を延滞すると、 延滞金が課されます 。※確認書裏面【返還の方法】（1）		●
12. 返還が難しい時は、願い出により 月々の返還額を2/3、1/2、1/3又は1/4に減額し、適用期間に応じた分の返還期間を延ばす制度 や 返還を先送りする制度 を利用できる場合があります。また、学校に在学している間は、願い出により卒業まで返還を通算10年間（120か月）先送りできます。※確認書裏面【その他手続き等】（15）（16）		●
13. 「人的保証」を選んだ人が返還を延滞したときは、 連帯保証人（父または母）、保証人（おじ・おばなど）にも請求 する場合があります。※確認書裏面【返還の方法】（1）		●



●「確認書兼個人情報情報の取扱いに関する同意書」記入例

記載漏れ等の不備がある場合は、申込みできません。

- ①「確認書兼個人情報情報の取扱いに関する同意書」は、切り離すかコピーをとって使用してください。
※コピーして使用する場合は、必ず裏面の約款も両面コピーしたものを使用してください。
- ②記入を誤った場合は、誤った箇所を二重線で訂正し、余白に正しく書き直してください。
※修正液や修正テープ等は使用しないでください。
- ③署名は必ず自署にて記入してください。
※署名は判読できるように正しく楷書で記入してください。

住民票の住所が現住所（今お住まいの住所）と異なる場合でも現住所を記入してください。

奨学金申込日（西暦）を記入してください。（本書類を記入した日）

（西暦）2024年4月10日

該当する国籍又は在留資格を○で囲んでください。
※d～gの在留資格に該当する場合は、在留期限（在留期間の満了日）も記入してください。
※外国籍の人でb～f以外の在留資格「留学」等の人は貸与の対象とはなりません。

学校名		学部・課程・分野	学科・専攻・研究科	学籍(学生証)番号
日本学生支援大学		経済	経済	123456
本	学校の種類	〒162-0000 東京都新宿区市谷本村町10-7		
	専修学校専門課程	東京大学		
人	フリガナ	氏名		
	ショウガク タロウ	奨学太郎		
	氏名	生年月日	昭和(平成)	性別(任意)
		17年5月1日	17	男
国籍又は在留資格		【該当を○で囲む】		
a 日本国籍		b 法定特別永住者 c 永住者 d 定住者(永住の意思がある者に限る) e 日本人の配偶者等 f 永住者の配偶者等 g 家族滞在		

【個人情報同意事項】 機構は、個人情報機関への登録及び利用は、延滞した場合のみ行います。

1. (個人情報機関の利用・登録等)
私は、奨学金の返済が延滞した後は、下記の個人情報(その履歴を含む)が機構が加盟する個人情報機関に登録され、同機関及び同機関と提携する個人情報機関の加盟会員によって自己の与信取引上の判断(返済能力又は転居先の調査をいう。ただし、返済能力に関する情報については返済能力の調査の目的に限る)のために利用されることに同意します。また、私は、延滞した後は、機構が加盟する個人情報機関及び同機関と提携する個人情報機関に私の個人情報(当該各機関の加盟会員によって登録される契約内容、返済状況等の情報のほか、当該各機関によって登録される破産等の官報情報等を含む)が登録されている場合には、機構がそれを債権管理(転居先の調査を含む)のために利用することに同意します。

個人情報	登録期間
氏名、生年月日、性別、住所(郵便不届の有無等を含む)、電話番号、勤務先等の本人情報	下記の情報のいずれかが登録されている期間
貸与金額、貸与日、最終返済日等の本契約の内容及びその返済状況(延滞、代位弁済、強制回収手続き、完済等の事実を含む)の情報	延滞発生から本契約期間中及び本契約終了日(完済していない場合は完済日)から5年を超えない期間
機構が加盟する個人情報機関を利用した日及び本契約又はその申込の内容等	当該利用日から1年を超えない期間
官報の情報	破産手続開始決定を受けた日から7年を超えない期間
登録情報に関する苦情を受け調査中である旨の情報	当該調査中の期間
本人確認資料の紛失・盗難等の本人申告の情報	本人から申告のあった日から5年を超えない期間

2. 私は、前項の個人情報、その正確性・最新性維持、苦情処理、個人情報機関による加盟会員に対する規則遵守状況のモニタリング等、個人情報の保護と適正な利用の確保のために必要な範囲において、個人情報機関及びその加盟会員によって相互に提供又は利用されることに同意します。

3. 前2項に規定する個人情報機関は次のとおりです。各機関の加盟資格、会員名等は各機関のホームページに掲載されており、なお、個人情報機関に登録されている情報の開示は、各機関で行います(機構ではできません)。

① 機構が加盟する個人情報機関: 全国銀行個人情報センター <https://www.zenginryo.or.jp/paic/>
 ② 同機関と提携する個人情報機関
 (例) 日本信用情報機構 <https://www.jicc.co.jp> ・ 誠シー・アイ・シー <https://www.cic.co.jp>
 (代位弁済後の情報提供について)

4. 私は、機構に対し、私が保証委託契約を締結した委託先から機構が代位弁済後の完済等の情報を取得し、これを個人情報機関に提供することを依頼し、その情報が個人情報機関に登録されることに同意します。

左記の個人情報機関では、本書面の書き方を含め奨学金に関するご質問にはお答えできません。

電話番号は、自宅・携帯とも記入してください。
所有していない場合は、自宅・携帯それぞれの欄に「電話なし」と記入してください。

重要
採用後、奨学生本人と日本学生支援機構との金銭消費貸借契約を明確にする契約書である「返還誓約書」と添付書類を定められた期限までに提出する必要があります。
添付書類は選択する保証制度により異なります。
保証制度の詳細については本冊子の第1部を、添付書類の詳細については本冊子の第3部を参照してください。

〔貸与奨学金〕確認書兼個人情報取扱いに関する同意書

〔大学・短期大学・専修学校専門課程〕

(西暦) 年 月 日

独立行政法人

日本学生支援機構理事長 殿

私は、独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という）の奨学金の貸与を受けるにあたり、インターネットによる奨学金の申込の入力内容又は奨学金案内の記載内容及び以下に記載の貸与申込の条件、個人情報取扱いに関する各同意条項、機構の諸規程並びに裏面記載事項について、確認し、同意のうえ、返還することを確約し、本確認書兼個人情報取扱いに関する同意書を提出します。また、第一種奨学金と併せて給付奨学金もしくは大学等における修学の支援に関する法律第八条第一項の規定による授業料減免を受けているときは、関係法令等の規定に基づき当該第一種奨学金の貸与額が増額又は減額（複数あるときは機構の定める額）に変更されることがあることに同意します。さらに機構に提出した個人番号については、裏面記載の範囲で機構が利用することに同意します。機関保証を受ける場合には、保証機関（公益財団法人日本国際教育支援協会）に支払うべき保証料は、機構が奨学金の交付の際にあらかじめ貸与金額から差し引いて支払うこととしてください。

*必ず本人が記入してください。

学 校 名		学部・課程・分野	学科・専攻・研究科	学籍(学生証)番号
学校の種類	大学(学部)・短期大学 専修学校専門課程		電話番号(自宅) (携帯)	— — — —
フリガナ	現住所			
氏名	生年月日	昭和・平成	年 月 日	性別(任意) 男・女
漢字				
国籍又は在留資格	a 日本国籍 b 法定特別永住者 c 永住者 d 定住者(永住の意思がある者に限る) e 日本人の配偶者等			
【該当を○で囲む】	f 永住者の配偶者等 g 家族滞在 ※d～gの該当者は在留期限(在留期間の満了日)を記入(年 月)			

※飛び級等で、申込者本人(あなた)が未成年(18歳未満)の場合は、親権者欄のある書式に記入が必要です。書式については学校へお問い合わせください。

【個人情報同意条項】 機構は、個人情報情報機関への登録及び利用は、延滞した場合のみ行います。

(個人情報情報の利用・登録等)

1. 私は、奨学金の返済が延滞した後は、下記の個人情報(その履歴を含む)が機構が加盟する個人情報情報機関に登録され、同機関及び同機関と提携する個人情報情報機関の加盟会員によって自己の与信取引上の判断(返済能力又は転居先の調査をいう。ただし、返済能力に関する情報は返済能力の調査の目的に限る)のために利用されることに同意します。また、私は、延滞した後は、機構が加盟する個人情報情報機関及び同機関と提携する個人情報情報機関に私の個人情報(当該各機関の加盟会員によって登録される契約内容、返済状況等の情報のほか、当該各機関によって登録される破産等の官報情報等を含む)が登録されている場合には、機構がそれを債権管理(転居先の調査を含む)のために利用することに同意します。

個人 情 報	登 録 期 間
氏名、生年月日、性別、住所(郵便不着の有無等を含む)、電話番号、勤務先等の本人情報	下記の情報のいずれかが登録されている期間
貸与金額、貸与日、最終返済日等の本契約の内容及びその返済状況(延滞、代位弁済、強制回収手続き、完済等の事実を含む)の情報	延滞発生から本契約期間中及び本契約終了日(完済していない場合は完済日)から5年を超えない期間
機構が加盟する個人情報情報機関を利用した日及び本契約又はその申込の内容等	当該利用日から1年を超えない期間
官報の情報	破産手続開始決定を受けた日から7年を超えない期間
登録情報に関する苦情を受け調査中である旨の情報	当該調査中の期間
本人確認資料の紛失・盗難等の本人申告の情報	本人から申告のあった日から5年を超えない期間

2. 私は、前項の個人情報、その正確性・最新性維持、苦情処理、個人情報情報機関による加盟会員に対する規則遵守状況のモニタリング等、個人情報の保護と適正な利用の確保のために必要な範囲内において、個人情報情報機関及びその加盟会員によって相互に提供又は利用されることに同意します。

3. 前2項に規定する個人情報情報機関は次のとおりです。各機関の加盟資格、会員名等は各機関のホームページに掲載されています。なお、個人情報情報機関に登録されている情報の開示は、各機関で行います(機構ではできません)

①機構が加盟する個人情報情報機関：全国銀行個人情報センター <https://www.zenginkyo.or.jp/pcc/>

②同機関と提携する個人情報情報機関

・ ㈱日本信用情報機構 <https://www.jicc.co.jp> ・ ㈱シー・アイ・シー <https://www.cic.co.jp>

(代位弁済後の情報提供について)

4. 私は、機構に対し、私が保証委託契約を締結した委託先から機構が代位弁済後の完済等の情報を取得し、これを個人情報情報機関に提供することを依頼し、その情報が個人情報情報機関に登録されることに同意します。

左記の個人情報情報機関では、本書面の書き方を含め奨学金に関するご質問にはお答えできません。

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、奨学金貸与業務(返還業務を含む)のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

確認書兼同意書は、本人控としてコピーを取り返還誓約書を提出するまで大切に保管してください。

学校番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

